

伊那市では高齢の方やお身体が不自由な方等の交通弱者に対する支援事業として、市街地域の住民の皆様に対するタクシー利用補助事業（通称デジタルタクシー）を実施しております。

高齢者にはまだまだコロナも怖い、全く知らない方との相乗りはちょっと・・・
(70代女性利用者)

市がやる事業なので借上げると言われても、車両や運転手を簡単には増やせない。
(タクシー事業者経営者)

乗客にスマホアプリの操作法聞かれても俺だってわからない。電話が利用者にも1番！
(タクシー運転手)

利用登録した住民は、対応タクシー会社に「デジタク利用での予約」と伝えるだけ。あとは普段タクシーに乗るのと全く変わりません。（但し乗車の際に利用者証を提示ください）

方式の違い	車両・運転手	乗車人員	金銭授受	運転手のオペレーション	タクシー事業者収益	予約・配車方式
デマンド方式	サービス提供時借上げ	相乗り	定額支払	運行ナビシステムに従い運行。金銭も別途集計。	契約台数分の収益固定化	相乗りのため、運行システム必須
デジタルタクシー	通常運行業務と兼務	予約者限り	定額支払	運行は一般顧客対応と同じ。乗降時に端末にワンタッチ登録。	利用者数分の収益が純増	受付台で通常の配車と同じ扱い

伊那市にてDTaM（専用アプリ）を開発

通常営業同様にタクシーメーターは回るので、利用者の支払い料金との差額の売掛金が生じます。これらを簡単に集計し、市への請求事務処理にも使える、売掛金清算アプリとして、クラウドサービスにて **DTaM(Digital Taxi Management)**を開発し運用しております。

- 運転手は右記③④のように、乗降車時にそれぞれ端末タップで入力。
- 事務員はDTaM管理画面より、誤投入等の修正が可能。月次処理にて市役所へ売掛金の差額請求書発行。
- 乗降時間・場所、料金、利用者、利用回数はDTaMに蓄積。

利用の流れ

- ①対象者で利用希望者に対して無償登録にて利用者証を発行。
- ②利用時は、タクシー事業者の専用番号に電話し予約を行う。
- ③乗車時は利用者証の提示を受け、運転手はDTaM端末をワンタッチしてQRコードを読み取り、受付登録をする。
- ④会計時は、利用者は規定金額を支払う。運転手はDTaM端末をワンタッチで料金メーターを読み取り登録完了。

利用者証 (出かけま証)

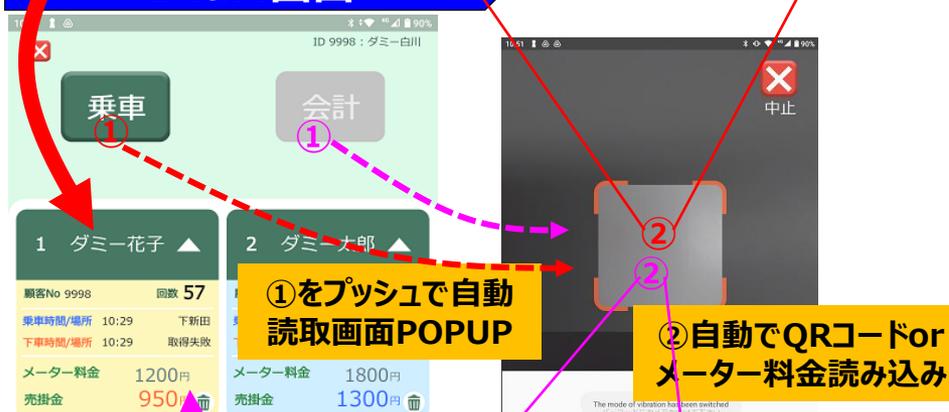
伊那市 市街地 デジタルタクシー		伊那市 市街地 デジタルタクシー	
登録番号	9998	でかけま証	登録番号
			9999
名前	③ ダミー花子	名前	ダミー太郎
運賃	250円	運賃	500円

それぞれのメリット

【利用者メリット】

- ①利用者登録をしまえば、あとは利用者証の携帯のみでサービスを利用でき、**利便性は普通にタクシーに乗るのと全く変わらない**
- ②予約方法も、各タクシー事業者の専用番号に**電話するだけ**
→スマホなどの難しい操作は一切不要
- ③サービス区域内ならばどこからどこへでも定額で利用できる
- ④**見知らぬ人と相乗りなくてよい、通院等でも安心**

DTaM画面



①をプッシュで自動読取画面POPUP

②自動でQRコードorメーター料金読み込み

【タクシー事業者メリット】

- ①タクシー事業者は、一般のお客様乗車業務と、デジタク扱い乗車業務を混在して運用する事ができる→**デマンドと違い車両と運転手をサービス時間帯において占有されることが無い**
- ②専用ナビゲーション等一切不要。サービス提供時も、一般のお客様対応と同じように運転対応すれば良い
- ③運転手はタブレットの専用アプリにて利用者証と料金メーター金額の自動読み取りにより、それぞれワンプッシュで運行記録をするだけ
- ④**運用時間中の車両稼働率が飛躍的に向上し、収益純増となる**
- ⑤DTaM管理画面から、訂正や当月の売掛状況が瞬時にわかる

③登録完了

料金メーター



③

【自治体のメリット】

- ①昼間の利用者層を定額借り上げ車両で対応するわけではないので、**民業圧迫 (タクシー事業者の経営を) しにくい**
- ②**補助費用も出来高払いとなり、回数上限設定で調整もできる**
- ③毎月補助券の送付等の手間が一切かからない。利用者証ありきなので他人への権利譲渡等も補助券方式よりやりづらい
- ④クラウドサービスのDTaM採用により、専用の技術者等不要で、タクシー事業者が集計した売掛金総額を支払う事務処理のみ
- ⑥**乗車降車位置と時間のビッグデータを利用して、個人の利用状況や移動動態データの分析も可能**